



# につかわ通信

令和4年

10月号

No.34

発行：新川地区地域交通運営検討会

## 地域交通「ハツ森号」



ご予約は、ハツ森号予約センター  
相互タクシー（株）  
022-226-1641まで

※はじめに「ハツ森号の予約です」とお伝えください。

## 10月から実証運行が始まります



令和4年8月30日に開催された仙台市地域公共交通会議(写真)でハツ森号の実証運行が承認され、現在、国への申請・認可手続きを進めています。

実証運行は、安定的な経営を目指し、さらなる利用者増加に向けた啓発活動を行うために実施するものです。引き続き皆さまのご利用をよろしくお願いいたします。

### 実証運行の内容



- 運行日：平日5日（月～金）14便体制
- 運行期間：令和4年10月～令和5年3月

※安心して確実な運行のため、予約時間の厳守にご協力をお願いします。

（平日7：00～16：30、土・日・祝7：00～14：00）



※時刻表、乗降ポイント、予約時間に変更はございません。詳しくはリーフレットをご覧ください。

# 令和4年度 第3回 新川地区地域交通運営検討会を開催しました

今年度3回目の検討会を、9月14日に旧新川分校音楽室で開催しました。検討会では、令和4年度試験運行の中間実績について確認したほか、本格運行の内容について話し合いました。

本格運行の運行計画案は、10月開催予定の運営検討会で再度協議し、遅くとも11月初旬までに決定する予定です。

## 主な報告事項

- 燃料費等や人件費等の高騰に伴い、本格運行時の八ツ森号の運行経費は増額となる見込みであり、相互タクシーから見積徴収を予定している。
- 仙台市の要綱上、補助金には、上限額があり、かつ、予算の範囲内で運行する必要がある。  
(別表1参照)
- サービスを拡大し、運行本数が増えていくと、補助金の上限額を超える可能性がある。
- 本格運行時の運行案としてKCSより3案が示された。(別表2参照)
- 仮に運行経費が9,970円から11,400円に増額となった場合、現状の収支率は目標値をわずかに上回る程度まで低下する。  
(別表3参照)

## 主なご意見

- 乗り合いが前提であることを考えると、乗り合いが発生していなかった土曜日運行には慎重になったほうが良い。
- リスクがある案を選択するのは不安である。
- まずは安定・継続して運営していくことが重要である。
- 仙台市の要綱上の上限額があるということなので、収支率が10%超えていれば安心という訳ではないということが分かった。
- 不確定要素が多い中で本格運行を実施していくことを考えると、ある程度収支率に余裕は欲しい。
- 土曜日運行を望む声はあるので、きちんと説明できるようにした方が良い。



別表1

仙台市の要綱に基づき、ハツ森号における本格運行時の継続条件。  
 (運行経費が11,400円に増額すると仮定した場合)

- ①：1便あたりの乗車人数が1.2人以上であること
- ②：要綱上の1日の運行経費の上限は65,000円であり、ハツ森号の運行本数に換算すると1日あたり5.7本以下であること。(現状は7本)
- ③：要綱上の上限は12,960,000円であり、ハツ森号の運行本数に換算すると年間1,136本以下であること。
  - 【平日のみ運行する場合】
  - 1,136(本/年)÷243(日)÷0.9(最大補助率)≒5.1(本/日)以下であること
  - 【平日+土曜運行する場合】
  - 1,136(本/年)÷293(日)÷0.9≒4.3(本/日)以下であること
- ④：目標収支率10%以上を確保すること(ハツ森号の場合は1.5人/回以上である必要がある)

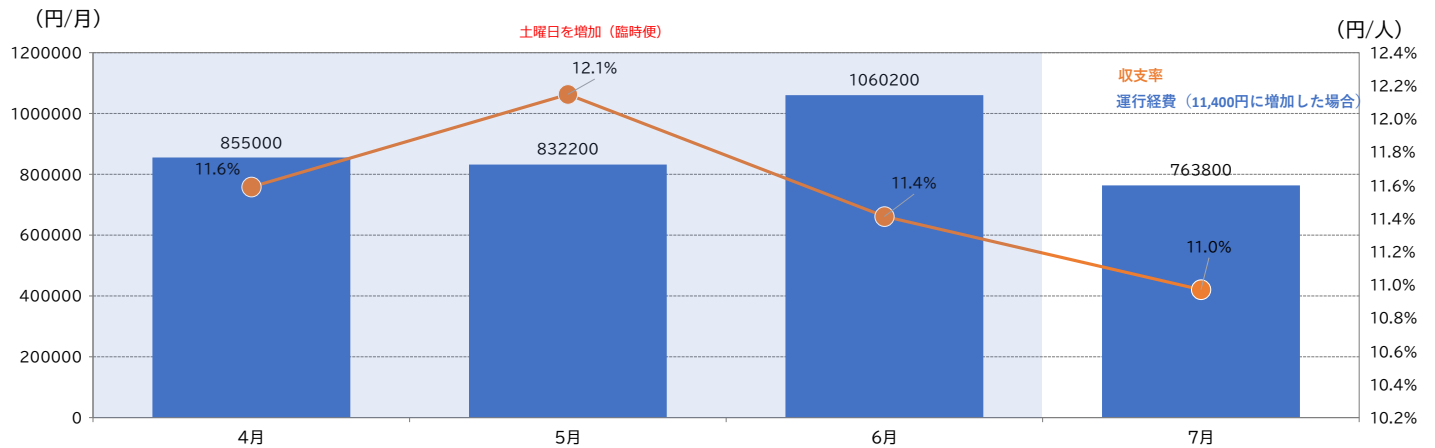
別表2

土曜日の運行(案)の特徴

	案1：平日5日14便 +土曜日14便	案2：平日5日14便 +土曜日8便	案3：平日5日14便
<b>利便性</b> (利用者目線)	◎ <ul style="list-style-type: none"> <li>■本数が多く選択肢が広がり、自由な移動が出来る</li> <li>■運行日が全日14便のため分かり易い</li> </ul>	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>■平日+土曜の体制を構築し、利便性向上に寄与する</li> <li>■案1ほど自由な移動は出来ない</li> </ul>	△ <ul style="list-style-type: none"> <li>■案1・案2と比較すると利便性は高くない</li> <li>■平日の通院・買い物利用が中心</li> </ul>
<b>効率性</b> (収支率、乗合率)	△ <ul style="list-style-type: none"> <li>■本数が多いほど、利用者が分散し乗合率が低下する</li> <li>■乗合率の低下に伴い収支率が低下する</li> </ul>	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>■土曜日の本数制限により、案1と比較すると若干不便だが、できるだけ乗り合う環境を構築</li> <li>■案1と比較すると効率性の向上が図られる</li> </ul>	◎ <ul style="list-style-type: none"> <li>■案1・案2と比較すると効率性が高い</li> </ul>
<b>持続性</b> (運行体制、財源)	△ <ul style="list-style-type: none"> <li>■運行は可能であるが、運行事業者への負担増</li> <li>■要綱上の上限と比較すると、上限回数を超過する可能性が懸念される</li> </ul>	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>■運行は可能であるが、運行事業者への負担増</li> <li>■要綱上の上限と比較すると、上限回数を超過する可能性が懸念される</li> </ul>	◎ <ul style="list-style-type: none"> <li>■令和3年度臨時便運行期間及び令和4年現在で収支率10%をクリア</li> <li>■要綱上の上限と比較しても1日1本程度の増加は問題なし</li> </ul>

### 別表3 運行経費が増加した場合の令和4年度の収支率の推計

運行経費が9,970円から11,400円に増加した場合、令和4年4月からの運行経費は増加し収支率は低下する。その結果、令和4年7月時点の収支率は11.0%となり、目標収支率10.0%をわずかに上回る結果となる。



### ★次回の検討会開催について

次回の検討会は、下記のとおり開催する予定です。令和5年度からのスタートを予定している本格運行の運行計画（案）等について改めて協議する予定です。新川周辺地域にお住まいの方ならどなたでもご参加できます。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の防止のため、マスクの着用をお願いします。

日時：10月19日（水）19時～（1時間半程度予定）

場所：旧新川分校 **音楽室**

マスク着用を  
忘れずにね！



■ハツ森号や検討会、検討会内容に対するご意見がございましたら下記連絡先までおねがいします。  
（メール、FAX、郵送等いずれの方法でも構いません）

■運営主体：新川地区地域交通運営検討会

■支援機関：仙台市都市整備局 地域交通推進課

電話 022-214-8359 FAX 022-211-0017

〒980-8671 仙台市青葉区二日町12-34 (株)オンワード樫山仙台ビル9階

Mail : tos009180@city.sendai.jp